

提言第7号 一般・療養病棟における非侵襲的陽圧換気（NPPV）及び
気管切開下陽圧換気（TPPV）に係る死亡事例の分析

事例4

< 事例概要 >

・ 70 歳代の患者。1 年半前に筋萎縮性側索硬化症（ALS）と診断。1 年前から TPPV 管理。半年前に瞬目消失。自発呼吸無。長期療養目的で一般病棟に入院。

・ 同室患者のナースコールで看護師が訪室。人工呼吸器の低圧アラームが作動しており気管切開チューブとの接続部が外れ、全身チアノーゼを確認。救命措置を実施し、一旦自己心拍再開するが、死亡。死亡時画像診断（Ai）無、解剖無。

・ 心電図モニタが異常を示した時間、看護師はそれぞれ他患者の対応中。感染症対策で病室の扉を閉鎖していた。

・ 生体情報モニタは心電図モニタを使用。